

企業名	佐川印刷株式会社				
役職・代表者	代表取締役社長 佐川正純				
本社所在地	愛媛県松山市間屋町6番21号				
電話番号	089-925-7471	設立年	1952年	従業員数	85名
URL	https://www.sakawa.co.jp/				

該当するSDGsのゴール



自社紹介及びSDGs取組の概要

当社はSDGsに賛同し、「コミュニケーションで人と社会を豊かにする」という信念のもと、事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組む。社員一同がSDGsを理解し「愛媛が元気になれば、佐川印刷も元気になる」を合言葉に行動することを宣言した。松山工場ではGP認定を取得、「緑のカーテン」活動では松山市より表彰を受けている。女性が働きやすい工場を目指し、IoT活用で自動化や省力化など業務改善を行ってきた。2000年に地元の農産物を全国に販売するECショップを立ち上げ、地域産業の応援に力を入れてきた。現在は、地域活性化事業として、いよマーケティング委員会「愛媛ひとまち百景」、YouTubeチャンネル「えひめの動画」、フリーペーパー「Eのさかな」に取り組んでいる。SDGsの社内認知度向上のため、若手社員が中心となり、本社の階段広告の設置やアンケート調査等の活動を通じて、SDGsの知識習得や事業との関連、経営理念や社会貢献の教育の場ともなっている。松山市SDGs推進協議会、愛媛県SDGs推進企業に登録。

取組のきっかけ、背景

- 2000年の現社長就任時制定の経営理念に基づき、環境課題をはじめ、地域や社会の課題解決について各管理者を任命し部署横断的に進めてきた。
- ダイバーシティ経営をきっかけにこれまでの取り組みが相互に連携していることを再認識し、トップメッセージとして全社員へ日常的に呼びかけた。

取組の進め方

- 社長を含め、各管理者とSDGsの項目について取組を分類し、2030年に達成する目標を設定し全社に周知した。
- 新入社員・若手社員による社内SDGsプロジェクトを立ち上げ、自身の知識習得と事業理解のための教育プログラムとして活用した。

具体的な取組、製品・サービス

- 松山工場は、印刷産業の環境自主基準に適合したグリーンプリンティング工場として、環境に配慮した印刷製品を提供している。IoTやビッグデータ、AI、ロボットを活用し、サプライチェーンとも協働して少人数体制の高付加価値化と生産性の向上を実現している。夏季には「緑のカーテン」活動を行い、松山市より表彰を受けた。収穫したゴーヤは社員に配布し毎年人気を集めている。近年では社員の自宅でも栽培できるよう希望者に苗を配布し、活動を拡大している。
- 創業の地である宇和島市は愛媛県の中でも深刻な人口減少を抱える中、雇用を維持しつつ、旧来の印刷事業からデジタルプリンティングに特化した工場、Sakawa Digital Printing Factory (S・D・P) として変革した。あらゆる材質に対応し、屋外広告・テキスタイル・壁紙などオリジナルデザインでの製作にお応えする。2.5Dリアルプリンティング®を施した日本の魚カレンダー2020は、ヨーロッパの印刷展示会で2部門金賞を受賞。
- 事業の特性を生かし2000年より約20年間、地元の農産物を全国に販売するECショップを運営した経験がある。自社の特性を生かし、地域の産業を応援する地域活性化事業として「愛媛ひとまち百景」「えひめの動画」「Eのさかな」を展開。2016年に創刊した愛媛の水産物を応援するフリーペーパー「Eのさかな」では、プロデューサーを筆頭に、女性社員が活躍している。SDGsとの関連を明らかにし、環境保護印刷の制作を通じて、パートナー企業のSDGs推進にも貢献している。
- 若手社員が中心となりSDGs社内推進プロジェクト「STEP2030」を立ち上げた。SDGsの認知度向上のため、本社の階段広告の設置やアンケート調査、「はだか麦応援プロジェクト」グッズ制作、取材や情報交換会の対応、「Eのさかな」を活用した小学生向けワークショップなどを通じ、SDGsに対する知識習得と同時に、事業や社会貢献に対する理解を促進し、営業活動にも繋がった。



はだか麦応援プロジェクト



地域の小学生向けワークショップ

取組んだ成果、効果（取組前後の変化）

- 全社的な認知度・理解度が向上し、SDGsへのお問い合わせや提案機会が増加した。関連受注（ロゴ制作、啓発印刷物、ノベルティ等）は2019年1件から2021年18件に増加。
- プロジェクトで若手社員の能力が発揮され、コンペ獲得の実績にも繋がった。

今後の予定、展望

- サプライチェーンとの連携の強化、オープンイノベーションの推進や、SDGs視点の共有。
- 愛媛の深刻な人口減少に対し、これまでの取り組みを土台に雇用を維持し、社員一人一人が活躍する持続可能な企業としての風土づくりの継続。